

な る と し ち い き ふ く し か つ ど う け い か く

鳴門市地域福祉活動計画

けいかくすいしんきかん
-計画推進期間-

2018 年 4 月～2023 年 3 月



じゅつみん

く

なるとの住民みんながしあわせに暮らせる
きょうせいしゃかい じつげん
共生社会を実現するための実践活動プラン
じっせんかつどう

平成 30 年 3 月

しゃかいふくしほうじん なるとししゃかいふくしきょうざikai
社会福祉法人 鳴門市社会福祉協議会

目次

第一章 私たちがめざす地域福祉

- 一 福祉とは 1
- 二 環境と私たちの暮らし 1
- 三 かつての地域といまの地域 3
- 四 これからめざす地域 3

第二章 鳴門市地域福祉活動計画について

- 一 地域福祉計画と地域福祉活動計画のちがい 4
- 二 地域福祉計画と地域福祉活動計画の位置づけ 5

第三章 地区別福祉活動計画 私たちの地区の福祉活動計画

- 13 地区割地図 7
- ・木津神地区 9
- ・中央地区 11
- ・斎田地区 13
- ・黒崎地区 15
- ・桑島地区 17
- ・川東地区 19
- ・里浦地区 21
- ・鳴門東地区 23
- ・鳴門西地区 25
- ・瀬戸地区 27
- ・大津地区 29
- ・北灘地区 31
- ・大麻地区 33

第四章 鳴門市社会福祉協議会の活動計画

- 一 社会福祉協議会の役割 35
- 二 鳴門市社会福祉協議会の現状と課題 35
- 三 活動の基本目標・主な施策・重点施策 37
- 四 鳴門市社会福祉協議会の重点的取組事項 38

第五章 計画の推進にあたって

- 一 計画の周知広報 40
- 二 計画の進め方 40
- 三 計画の進行管理と評価 42

資料編

第一章 私たちがめざす地域福祉

一 福祉とは

「福祉」という言葉から、みなさんはどんなイメージを浮かべますか。「高齢者福祉」「障害者福祉」「児童福祉」など、法律で定められた対象者ごとに行政が支援したり、関係機関がサービスを提供しているといったイメージでしょうか。

戦後まもなく制定されたこれらの福祉に関連する法律は、例えば「生活保護法」のように、当時の社会課題であった貧困問題への対策を中心として、法整備が進められた歴史があります。しかし、本来「福祉」が意味するところは、『ふだんのへらへら』のしあわせ『なのです。

では『ふだんのへらへら』のしあわせ』とは、一体どんな『しあわせ』をいうのでしょうか。

「日本で少し世界に目をむけてみます。世界の155か国を対象にした幸福度フンキング調査2017年では、上位5か国のうち4か国をノルウェーをはじめとする北欧諸国が占めました。いっなら北欧諸国は、普遍主義型（社会民主主義型）の福祉国家と呼ばれていて、若い、

病、障がい、出産、育児、失業など、日常生活にいかなる不自由が生じたとしても、個人の意思決定により自立した生活が求められるよう、「社会が主役」となって支援しています。高福祉とひきかえに国民には高負担がかかっていますが、それでも幸福度が高いのは、先の見えない将来を憂うことなく、自分の意志に基づいた『ふだんのへらへら』を最期までおくれるという「安心感」が大きく反映されているからといえるのではないのでしょうか。

さて、先ほどの幸福度フンキング調査で日本の順位はと言いますと、残念ながら51位でした。物質的には豊かになった日本ですが、不安を抱えた生活をおくっている現状があらわれた結果といえるかもしれません。



二 環境と私たちの暮らし

ある調査によると、ふだん裸眼で生活している日本人の人口割合は、3割から4割という報告がでてきます。このことでは、眼鏡やコンタクトレンズなどを使用しなければ、生活に支障をきたす日本人が7割近くもいるということになります。

さて一方で、今の日本社会では、視力を矯正するために必要な眼鏡やコンタクトレンズを、比較的安価に、しかも注文してからそう長く待たされることなく買い求めることができます。だから視力が悪化しても日常生活をおくるのにそんなに不便を感じずに済みます。これは、眼鏡やコンタクトレンズといった視力を矯正するツールが、今の日本社会に普及・流通しているから、私たちの生活の質（クオリティオブライフ（QOL））が保たれていると言い換えることができます。

また、このことを逆に考えると、眼鏡やコンタクトレンズが入手できない社会環境だとしたら、私たちは今と同じような日常生活を送れず、視力が悪いことが深刻な生活問題となってしまいます。

このように、私たちの普段の生活は、私たちを取り巻く社会環境によって大きく変わっていくのです。

どんな状況になっても、生活のしづらさを感じずに済む環境、それが私たちのめざす誰もが暮らしやすい「環境」だと考えます。



～思いやりの心～

何かに困っている時、何でもいから手伝ってほしいと思うくらい忙しい時、一人落ち込んでしまっている時・・・、そうした時に、誰かがその気持ちや状況に気づいてくれて、笑顔で助けてくれたり、だまって自分から動いてくれたり、優しい言葉をかけてくれたりしたら、私たちはその人に優しさを感じます。そして感謝の気持ちが心からうまれ、「ありがとう」と言えます。

こうした気持ちがうまれるのは、自分だけではどうにもならない状態の中で、他者の「思いやりの心」に触れることができたからでしょう。そしてこのような「思いやり」に接する中で、私たちは他者の「優しさ」に気づき、「ぬくもり」を感じることができるのではないのでしょうか。



三 かつての地域といまの地域

私たちは、ひとりでは生きられません。家族や友人、職場や同じ趣味をもつ人々とつながり、お互いに認め合うことで、安心を得ているのではないのでしょうか。大人も子どもも、男性も女性も、障がいのある方もない方も、赤ちゃんもお年寄りも、周りの人たちのちょっとした気遣いや見守り、そして支えあいがあったからこそ安心して生活が出来ます。

かつての地域では、こうした支えあいが当たり前のように行われていました。「遠くの親戚より近くの他人」「困った時はお互いさま」といった相互に助け合う姿が、かつて地域では当たり前のようになり、近隣者がともに喜び、悲しみ、また苦悩を共有する地域が身近に存在していました。

しかし、高度経済成長期を経て社会環境が大きく遷りかわり、人々はより自由で豊かな生活を求めるようになりました。かつて地域にあった近隣者同士の親睦や交流は、「誰にも干渉されず、自由気ままに生活したい」といった個人主義的な意識への変化によって、次第にわずらわしいと感じられるようになり、地域は「互いに関わり合わない・知り合わない地域」へと少しずつ変容していきました。

そしていま地域では、人と人とのつながりがどんどん希薄化する中であって、周りの人とうまく関係をつくることができずひとり悩み苦しみがらもその状況を訴えられないケースや、近隣で起っている虐待、DV、生活困窮、孤独死などに地域が気づけず、痛ましい事件や事故となつて発見されるといったことが社会問題として取り上げられるようになってきました。

四 これからめざす地域

地域の中には、周囲から孤立し、孤独な生活を送っている方々や、社会から排除されたり差別されたりして、その摩擦に苦しんでいる方々がおられます。そうした方々が健康で文化的な生活を送り、社会の構成員として人生のQOLを高めることが出来るようになるためには、地域社会全体を、みんなで包みあい、支えあう共生社会に変えていく必要があります。「こうした共生社会の実現にむけた理念を「ソーシャルリンク・ビジョン」といい、社会的包摂とも訳されたりします。



私たち家族が、若い・病・障がい・出産・育児・失業などによって不自由が生じた時でも、真っ先にその状況を察知してくれて、その困難を「我が事」としてとらえて支えてくれる地域があれば、「自分にどんなことがあるのもひとりではない」という「安心感」となり、みんながしあわせに暮らすことができる、そんな地域である鳴門市にしていきたいと考えます。

そして鳴門市と鳴門市社会福祉協議会では、『みんなが考え、安心してしあわせに暮らす』ことが出来る地域共生社会の実現』をめざして、地域福祉計画及び地域福祉活動計画を策定するにいたしました。

第二章 鳴門市地域福祉活動計画について

一 地域福祉計画と地域福祉活動計画のちがい

○地域福祉計画

「地域福祉計画」は、福祉分野に全般に関する市全体としての取組みの方向性や基本的な考えを示すとともに、さまざまな福祉施策を展開していく上での目標や推進の基本指針を定めています。

計画の役割としては、地域福祉を推進するための基本計画的な役割と、地域の生活課題の解決に向けて、さまざまな主体が地域で展開する取組みを計画的に進めるための道筋を示すという2つの役割を担っています。

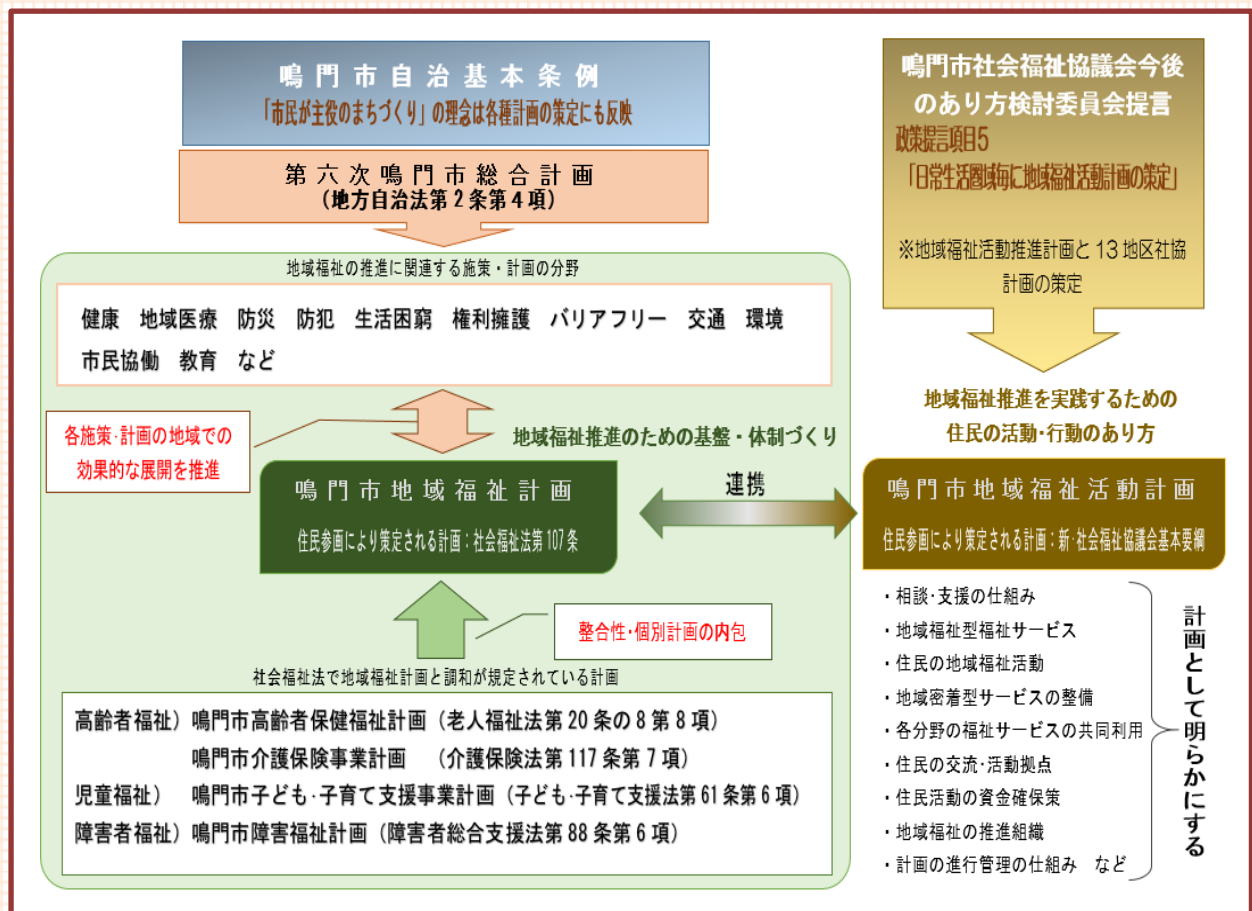
○地域福祉活動計画

『住みよい地域づくり』のために、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体（社会福祉法109条）である社会福祉協議会が、地域住民、ボランティア団体、NPO法人、当事者団体、企業、地区社協、地域関係者等の方々と協力しながら、地域の暮らしを良くするために民間の立場から作成するのが地域福祉活動計画です。市が策定する地域福祉計画と連携を図り、住民が主体的に参加する地域福祉を支援する役割を担っています。

二 ちいきふくしけいかく ちいきふくしかつどうけいかく い ち 地域福祉計画と地域福祉活動計画の位置づけ

なるとしちいきふくしけいかく しせいうんえい きほんほうしん なるとしそごうけいかく ふもん
「鳴門市地域福祉計画」は、市政運営の基本方針である「鳴門市総合計画」の部門別計画として位置づけられます。

ちいきふくしけいかく ちいきふくしかつどうけいかく きほんりねん きほんもくひょう おな
「地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」は、基本理念や基本目標を同じくするものであり、ともにちいきふくし すいしん
鳴門市社会福祉協議会では両計画を一体的に策定することとしました。





木津神地区
活動計画 P. 9～10 参照



中央地区
活動計画 P. 11～12 参照



斎田地区
活動計画 P. 13～14 参照



黒崎地区
活動計画 P. 15～16 参照



桑島地区
活動計画 P. 17～18 参照



川東地区
活動計画 P. 19～20 参照



里浦地区
活動計画 P. 21～22 参照



鳴門東地区
活動計画 P. 23～24 参照



鳴門西地区
活動計画 P. 25～26 参照



瀬戸地区
活動計画 P. 27～28 参照



大津地区
活動計画 P. 29～30 参照



北灘地区
活動計画 P. 31～32 参照



大麻地区
活動計画 P. 33～34 参照

13 地区割地図



★木津神地区の魅力

人とのつながり

親切・優しい人が多い、何事も協力的、町内会に参加する人が多い

歴史・文化

金比羅神社（わんぱく相撲大会）、長谷寺（観音踊り、銀杏の大木）、旧撫養街道

自然環境

景観がすばらしい、豊富で新鮮な食材

生活環境

市内の中心、医療機関が多い

…などなど

木津神地区の地域福祉活動計画

★座談会で出された意見

町内会組織が整っている（毎月会長さんが定例会を行っている）。

旧街道から撫養街道バイパスへ資源が移転した。

スーパーがなく、お店が少なくなっている。最近では、移動販売やコンビニができた。

災害時の避難場所が課題。旧テクノスクール跡地の利用や、避難の際、国道沿いを車の停める場所として使えないだろうか。 …な



木津神地区の地域課題

大項目：地域コミュニティ「若い世代の地域への参加」

●現状と課題

町内会を通じた住民活動が盛んだが、だんだんのご近所づきあいも少なくなっており、行事などの広報に苦慮しています。

世代間の交流が少なく、特に若い世代・新しい住民の参加に苦戦しています。

組織・行事の中心メンバーの高齢化・固定化が進んでおり、次の世代へのバトンタッチに不安を感じています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	関わり つきあい	ご近所に関心を持ちましょう（挨拶・声かけからはじめましょう）。 行事などの広報活動を再検討しましょう（SNSの活用など）。
中間期	交 流 連 携	中年層の組織をつくり、世代間が交流・連携できる機会を増やしましょう。
終了期	担い手 づくり	お祭りの活性化（お神輿の担ぎ手を若い世代に）、地区運動会の復活など、親世代・子ども世代を巻き込んだ活動の実施に向けて検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I-①-A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化
I-②-E	交流の場、機会づくり



大項目：子どもの育ち・子育て「地域の人たちと連携した子育て支援の仕組みづくり」

●現状と課題

支援したいと思っても、地域の子どもの情報の把握に困難を抱えています。
地域の遊び場やイベントについての情報発信に苦慮しています。
子育て世代と子育ての終わった世代との交流が不足しています。
地域と学校・児童クラブの関わりが不足しています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	情 報	地域の子どもの情報の把握について検討しましょう。 情報発信（地域の遊び場・イベントなど）について再検討しましょう。 （回覧板だけでなく SNS などを活用）。
中間期	交 流 居場所	気軽に子育てなどの相談ができる機会や、各世代が交流できる機会（防災訓練、運動会、スポーツ、草抜きなど）の提供を図りましょう。
終了期	連 携	学校・児童クラブと連携し、地域の人と子どもたちがふれあう機会の提供を図りましょう（昔遊びなど）。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I-①-A	地域福祉コミュニティの活性化
I-②-E・F	交流の場、機会づくり
II-①-I・J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III-①-L	地域福祉ネットワークの構築



大項目：防災・防犯「地域で支えあうまちづくりの推進」

●現状と課題

住民情報の把握・確認の必要性を感じています。
災害時備蓄品について不安を抱えています（チェック・水の確保）。
訓練がセレモニー的なものになっており、住民の防災意識の低下に不安を抱えています。
近くて高台の避難場所確保に困難を抱えています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	災害時の体制	住民情報の把握、確認について検討しましょう。 各家庭での災害対策、ご近所への声かけなどについて啓発を図りましょう。
中間期	防災資源	災害時備蓄品のチェック体制（計画的な備蓄）について検討しましょう。 地区内の井戸の調査・図示について検討しましょう。
終了期	訓 練 ・ 避難場所	より実戦的で多世代参加の訓練の実施に向け検討しましょう。 簡易トイレの設置について検討しましょう。 避難場所の確保・整備を図りましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I-①-A	地域福祉コミュニティの活性化
I-②-D	交流の場づくり、機会づくり
III-①-K・L・M	地域福祉ネットワークの構築



★中央地区の魅力

中央地区の地域福祉活動計画

自然環境

新池川（夜の灯り、しだれ桜、土手・散歩道）、棒抗山からの展望、イワシ山

歴史・文化

旧撫養街道鳳鳴閣跡、事代主神社

人とのつながり

老人クラブ活動が活発、民生委員・児童委員さんが積極的に動いてくれる

生活環境

公共施設や金融機関が近隣にあり便利、大道銀天街納涼祭、うずしおふれあい公園

…などなど

★座談会で出された意見

商業施設や公共施設が自転車でいける範囲にあり便利な生活圏域といえます。

空き地や空き家、道幅の狭さ、不法投棄など都市整備の面での改善が必要になってきています。

子育て世代が多く居住しており、児童施設や子どもの遊び場を増やしていきたいと考えています。

旧街道沿いは商店等が閉店し、活気がなくなり少し寂しくなってきました。

…など



中央地区の地域課題

大項目：地域コミュニティづくり「若い世代の地域への参加」

●現状と課題

子育て世代の住民も多い地域ですが、地域との交流を望まない近年の風潮もあり自治会加入世帯も減少しており、地域と住民のつながりは希薄になりつつあります。地域のお祭りや行事の参加も少なく、地域活動の後継者不足に課題があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	児童との交流	地域の子どもの名前を覚えましょう。 地域の子どもたちに昔の遊びを教えましょう。 地域の活動を若い世代に知ってもらうために、学校やお店に広報しましょう。 小学校や児童クラブと連携した活動を実施し、子どもたちとのつながりを深めましょう。
中間期	三世代交流機会の創出	親子で楽しめる地域のイベントを企画し、個別訪問して参加を呼び掛けましょう。 空き家等を提供してくれるオーナーを募集し、夏休み工作教室やマミールームを設置しましょう。 子育て相談会等を企画・開催し、若い世代と祖父母世代との交流機会をつくりましょう。
終了期	集いの場づくり	誰でも利用可能な児童館をつくりましょう。 子育て中の親世代が気軽に集える場所をつくりましょう。 若い世代を中心とした地域活動を展開し、活気ある地域にしていきたいと思います。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - D・E・F・G	交流の場づくり、機会づくり
II - ① - I・J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携



大項目：子どもの育ちと子育て「地域の人たちと連携した子育て支援の仕組みづくり」

●現状と課題

中央地区は便利な生活圏域にありますが、子どもの少なくなってきたり開催できるイベントも減ってきています。また、幼児を安心して遊ばせる場所が少ないことや、一時保育場所の少なさ、不登校児童等への支援体制が整っていないなど、若い世代は子育てに不安を感じています。そこで地域で安心して子育てができる環境・仕組みをつくっていきます。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	安心して子育てできる環境づくり	地域内の学校行事を地域住民もサポートできるよう学校と地域との連携を深めましょう。 地域活動を若い世代にも知ってもらえるような情報発信の方法を考え、実践しましょう。 子どもの遊び場の確保や地域住民による見守り体制を整備しましょう。 保育所や幼稚園と連携し、親の悩みを相談できる機会をつくりましょう。
中間期	交流支援	子育てと親の介護を抱える世帯へのサポート体制を考案しましょう。 開始期の活動を続け、子育て支援の視点からシニア世代と親世代の交流を深めましょう。
終了期	地域・団体・行政連携体制	地域と行政との連携を強化し、地域ぐるみで子育て支援ができる仕組みをつくりましょう。 子育てネットワークを確立し、地域と子育て世代とで意見・情報交換する機会を増やしましょう。また講習会やイベントを開催し、交流を深めましょう。 三世代が気軽に集える場所を地域につくり交流を促進しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B	地域福祉コミュニティの活性化	II - ① - J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
I - ② - F	交流の場づくり、機会づくり	III - ① - K・L	地域福祉ネットワークの構築

大項目：防犯・防災「地域で支え合うまちづくりの推進」

●現状と課題

地域にはひとりぐらし高齢者世帯や高齢者のみの世帯が増えてきています。中央地区は自主防災会が中心となって幅広い年齢層の住民が炊き出し訓練等に参加するなど、防災に対する意識が高い地域です。一方で、高齢者世帯や障がいのある方は、災害時の情報収集や避難行動が遅れる傾向があることから、地域全体で日頃から災害に備えて避難移動や避難支援体制を整えておく必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	呼びかけ啓発	地域で講習会を開催し、防災訓練の重要性を互いに確認しましょう。 回覧板等を活用し、避難所の場所や避難経路を各家庭で確認するよう呼びかけましょう。
中間期	活動参加促進	障がいのある住民も参加できる防災訓練を考案しましょう。 地域の防災士を増やすため、住民に関心を深めてもらうよう啓発しましょう。 中高生がタバコを吸っている場所をパトロールし、防犯・防火活動をしましょう。
終了期	確認確保	倒壊しそうな地域の空き家等の状況を確認し、処置について市に相談しましょう。 地震への備えとして、地域の公共施設や児童施設、避難場所等の耐震化を確保するよう市と協議し、安全・安心な地域を確保しましょう。 各家庭を訪問し、高齢者が避難しやすい家であるか、地域の避難行動要支援者を誰が支援するかについて確認しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・C	地域福祉コミュニティの活性化
III - ① - K・L・M	地域福祉ネットワークの構築
III - ② - O	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



★ 齋田地区の魅力

人とのつながり

高齢者を中心とした活動が活発（友愛訪問、清掃奉仕活動など）、熱心な PTA 活動

生活環境

教育施設が多い、市の中心部で買い物に便利、交通の便良し、病院が近くにある

歴史・文化

八幡さんのおごく、御神輿巡行、上田商店のこんにゃくづくり、大道銀天街納涼祭、
鳴門市阿波おどり

自然環境

新池川の桜並木、花街道齋田、フラワーベルト

…などな

齋田地区の地域福祉活動計画

★ 座談会で出された意見

医療機関・福祉施設が多く、病気やケガなどに対応できる環境。
市営球場やうずしおふれあい公園など健康施設も豊富にある。
避難所の岩崎神社や市営球場は高い所にあり、高齢者や障がい
者等の避難に課題がある。

地域活動の担い手が不足している。

ひとり暮らし高齢者、老々介護、徘徊、安否確認などの支援体
制がなく、有償ボランティアも検討が必要。 …など



齋田地区の地域課題

大項目：地域コミュニティ「若い世代が地域活動に参加するために」

● 現状と課題

人のつながりとしては、高齢者による奉仕活動等が盛んな地域ですが、一方で若い世代の地域活動
への参加が少なく、今後、地域活動の担い手が不足することが危惧されます。現状では様々な世代
が交流できる場所や機会が少ないので、世代間交流を促進する必要があります。

< 課題解決のために >

○ 地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	周知広報	さまざまな地域の活動を SNS や YouTube を利用して発信しましょう。 うずしおふれあい公園で子どもの参加できるイベントを開催し、参加した若い世代や転入世帯等に対する地域活動の案内を行いましょう。
中間期	交 流	サロン活動に親子も参加できるように子育てのサポートを実施しましょう。 放課後の児童の居場所づくりに町内会も関わらしましょう。 三世代交流型のスポーツ大会など、若い世代が主体となる行事を企画・実施しましょう。
終了期	定着化	町内運動会や秋祭りを地元行事として定期的開催し、世代交流活動を定着させましょう。 また、社協や自治会への加入条例の策定も検討しましょう。

○ 地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - E・F	交流の場づくり、機会づくり



大項目：高齢者の見守り・介護「高齢者世帯を見守る仕組みづくり」

●現状と課題

地域では高齢者のみの世帯やひとりぐらし高齢者が増加していますが、寝たきりや認知症等の情報がなく、見守りや支援体制が整っていない現状では、老後の生活や一人生活になることに不安を感じている現状があります。高齢者や同居する家族を地域が見守り、支援する体制の整備が必要です。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	情報把握	町内で声掛け運動を始めましょう。 町内でひとりぐらし高齢者等の確認を行いましょう。(訪問・回覧板等で状況確認)
中間期	情報化 共有	地域の高齢者世帯の状況を情報化しましょう。 町内会単位で高齢者やひとりぐらしマップをつくり地域で共有しましょう。 民生委員の補助員を地域で町内会ごとに選任しましょう。
終了期	しくみ づくり	見守りネットワークを構築しましょう。 見守りをはじめとする地域住民の問題を地域で支援できる関係(体制)をつくりましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I - ① - A・C	地域福祉コミュニティの活性化
II - ① - H・I	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - ① - K・L	地域福祉ネットワークの構築
III - ② - N・O	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



大項目：防災・防犯「災害時要援護者を見逃さないために」

●現状と課題

住民と高校の協力体制で防災活動を実施していますが、災害時に避難行動支援を必要とする住民の状況がわからないため、こうした住民が活動に参加できていません。有事に備えて、地域でできる避難支援への対応を考える必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	情報共有	地域ごとに近い避難ルートや場所をまとめハザードマップを作成しましょう。 地域の消防団や民生委員と避難行動要支援者に関する情報共有を図りましょう。 避難行動要支援者のリストを作成し、隣近所で共有しましょう。
中間期	組織化 訓練	地区(町内)の防災リーダーを決めましょう。 防災に関する地域の集会を開催し、避難行動要支援者も参加した防災訓練を定期的に行いましょう。 災害時避難行動要支援者を誰が支援するか決めましょう。
終了期	設備・環境 づくり	避難支援に必要な要援護用具を町内ごとに備えましょう。 避難路の状況を確認し、避難支援しやすい環境整備を進めましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I - ① - A	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - D	交流の場づくり、機会づくり
III - ① - K・M	地域福祉ネットワークの構築
III - ② - O	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



★桑島地区の魅力

桑島地区の地域福祉活動計画

生活環境

病院が近くにたくさん存在。葬儀場も高齢者や家族の心のよりどころとなっている。

商業施設も充実、買い物に便利、交通の便良し、ボートレース場等娯楽施設もある。

歴史・文化

鳴門塩田の発祥地、秋祭りの餅投げ、桑島八幡神社

人とのつながり

隣近所や町内会が仲良し、地域の人に活気がある、牧師さんによるがん患者の心の支援活動、小学校の運動会には地域住民が参加、グラウンドゴルフが盛んに開催されている
…などなど

★座談会で出された意見

商業地であり公共施設や医療・福祉施設も充実。体育館やスポーツ施設もあり健康な暮らしができるところが桑島地区の強み。

一方で、昔からあった商店などが閉店し、地域のお店を介した人とのつながりが減ってきている。

地域で暮らす障がいのある住民に十分な情報（特に避難情報）



桑島地区の地域課題

大項目：地域コミュニティ「世代をつなぐ地域交流」

●現状と課題

桑島地区は自治振興会や婦人会、老人クラブや桑島子ども見守り隊など地域活動が活発で、町内会長さんも近隣住民をよく世話しており、人のつながりがいい地区であるといえます。しかし、こうした活動は年配の方が中心となっており、若い世代は地域活動より仕事や家庭を優先する傾向が強まっていることもあって参加が少なく、次世代への地域活動の引継ぎに課題があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	交流機会の創出	PTA 活動と地域交流とのマッチングを図りましょう。 学校・PTA・社協による世代交流活動に向けた企画や目標を協議しましょう。 学校行事に地域の高齢者が関わる機会を増やしましょう
中間期	イベント	子どもたちの独居高齢世帯への訪問、子ども見守り隊など世代間で支える仕組みを作りましょう。 若い世代も楽しめる地域行事を実施しましょう。 地域の運動会の復活を検討・実施しましょう。
終了期	集いの場・機会の創出	空き家等を利用し、世代を超えて住民が集える場所や拠点をつくりましょう。 休日に子どもが地域で遊べる場所を確保しましょう。 マンション住民の自治会を立ち上げましょう。 若い世代を中心とした組織体制にかえていきましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化	III - ② - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発
I - ② - D・E	交流の場づくり、機会づくり		

大項目：家族・地域の変化「住民を支える小地域ネットワーク」

●現状と課題

若い世代の転出や少子化に伴って地域の人口が減少しており、高齢者のみの世帯が増加しています。こうした状況は今後も進むと予測され、単身もしくは高齢者のみの世帯で介護が必要となった時の生活に支障がでてくるのが懸念されます。一方でマンション等に入居してくる新たな住民と交流する機会が少ないので、転入してくる若い世代も参加したネットワークを構築し、地域住民同士が互いに支え合える地域にしていく必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	基盤づくり	民生委員を支える体制をつくりましょう。 自治会と行政、民生委員の連絡会を開催しましょう。 ひとりぐらし高齢者への声掛けを行いましょう。 世代を超えて集まる機会をつくり、地域の福祉活動を知ってもらいましょう。
中間期	情報発信力強化	地域活動を若い世代に情報発信してもらいましょう。 若い世代を講師として情報発信のための勉強会を開催しましょう。
終了期	ネットワーク構築	若い世代のネットワークと地域団体活動をリンクさせましょう。 民生委員が家庭に介入しやすいよう地域住民の意識改革を図りましょう。 地域住民がなんでも相談しやすい環境をつくりましょう。 地域の見守りネットワークを構築しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化	II - ① - I	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
I - ② - D	交流の場づくり、機会づくり	III - ① - K	地域福祉ネットワークの構築

大項目：防災・防犯「次世代につなぐ、防災コミュニティ」

●現状と課題

防災訓練等は活発に実施されていますが、災害発生時における障がい者や高齢者の避難場所への対応に課題があります。また若い世代の参加も少なく、災害への備えとして次世代の世話役を育成していく必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	情報共有	町内に防災委員を置き、近隣住民の災害時避難用連絡網を整備しましょう。 携帯電話やスマートフォンで災害情報が迅速に受け取れるよう、周知広報を行いましょう。
中間期	避難時ネットワークの構築	連絡網を活用した防災訓練を定期的実施しましょう。 防災委員連絡会を開催し、障がい者や高齢者の避難支援を充実させましょう。
終了期	次世代の人材育成	地域の若い世代を対象とした防災研修・講習会を実施しましょう。 地域住民に手話を覚えてもらうため、地域で手話の勉強会等を実施しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - D	交流の場づくり、機会づくり
III - ① - L・M	地域福祉ネットワークの構築



★黒崎地区の魅力

活動・イベント

幼・小運動会を地区の運動会として開催、黒崎バイパスの花壇づくり

歴史・文化

塩釜神社、八幡さんのおごく、黒崎っ子花祭り、金光山ミニ八十八か所、こども神輿人とのつながり

安全パトロール隊による登下校時の見守り、友愛訪問、自治振興会が活発
生活環境

交通の便が良い、商業施設や医療施設が充実

…などなど

★座談会で出された意見

黒崎バイパス沿いを中心に商業施設が多くあり利便性がよい。

幼稚園や小学校、診療所や医院も多く、子どもや高齢者にも住みやすい。

バイパスの清掃活動や立哨、自主防災活動など住民活動が活発な地域。 …など



黒崎地区の地域課題

大項目：地域コミュニティづくり「3世代交流を大切にする地域にするために」

●現状と課題

地域のつながり意識が強く、活発に地域活動を実施している一方で、若い世代の地域参加が少なく、活動の中心はシニア世代となっています。次世代にこうした活動がつけられるかが課題となっています。

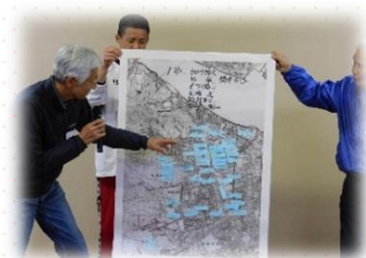
＜課題解決のために＞

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	意見・情報交換	昔遊びなどをととして幼稚園児や小学生とシニア世代の交流機会をつくりましょう。世代ごとの価値観の違いやニーズを把握するため、パパ・ママ世代とシニア世代との意見交換の場をつくりましょう。
中間期	若返り	すべての世代が参加できる地域のイベントを企画・実施しましょう。行事にかかわる役員を若い世代に担ってもらい、地域住民でサポートをしながら地域活動の担い手を育てましょう。
終了期	リーダーの育成・拠点づくり	子ども世代から地域活動の大切さを学べるよう、黒崎小学校と連携した地域活動を拡充しましょう。三世代が気軽に集まり、交流できる場所を確保しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - E・F・G	交流の場づくり、機会づくり
III - ② - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



大項目：高齢者の見守り・介護「地域が見守る、ふれあいネットワーク」

●現状と課題

家族のサポートが受けられないひとりぐらし高齢者や高齢者のみの世帯が増えてきており、孤独死のリスク回避や買い物・ゴミ出し・移動などの支援を地域で取り組む必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	連 携 把 握	ひとりぐらし高齢者世帯の安否確認ができるように、民生委員や老人クラブ、近隣住民が連携して週1回訪問できる体制をつくりましょう。 ひとりぐらし高齢者へのお弁当の配布を定期的に行い、健康状態や困りごと等を地域で把握できるようにしましょう。
中間期	安否確認	自治会や町内会などで各家庭を訪問する際に、ひとりぐらしの高齢者の様子を確認できるような取組みを考案しましょう。 地域に安全・安心啓発パトロール隊を発足し、孤独死防止に向けた見回りをしましょう。 いきいきサロンを充実し、高齢者が顔を出しやすい活動をしましょう。
終了期	困りごと 支 援	有償ボランティアを利用してひとりぐらし高齢者の困りごとを解決できるような仕組みをつくりましょう。 近隣住民が乗り合わせて買い物ができるような支援について考案しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A	地域福祉コミュニティの活性化
II - ① - H・I	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - ① - K・L	地域福祉ネットワークの構築
III - ② - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



大項目：防犯・防災「地域を救う、住民の絆」

●現状と課題

安全パトロール運動や防災訓練等を行い、地域で防犯・防災に取り組んでいますが、災害時の避難体制をより強化するために、災害に対応したネットワークを地域でつくる必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	周 知 情報収集 把 握	地域で行っている防災・防犯活動を多くの住民に知ってもらうよう周知に努めましょう。 地域住民の共助への意識を向上させるため、地域の行事やイベントを通じて顔見知りをつくらせ、防犯・防災活動への参加も呼びかけましょう。 危険箇所の情報を収集しましょう。 地域の避難行動要支援者を地域で把握しましょう。
中間期	つながり の強化	災害や防犯用の住民ネットワークをつくりましょう。 地域の役員会を定期的に開催し各町内会のつながりを強化しましょう。 災害時に頼りにできる地域のリーダーを見つけ、育成しましょう。 社協や自主防災会と合同で防災訓練を実施しましょう。
終了期	改 善	町内会単位でのミニ定例会等を開催し、自治会間に格差が生じないよう防犯・防災活動の見直しをしていきましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - B・C	地域福祉コミュニティの活性化	III - ① - K・L・M	地域福祉ネットワークの構築
I - ② - E	交流の場づくり、機会づくり	III - ② - O	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発

★川東地区の魅力

活動・イベント

公民館での文化活動が盛ん

家具転倒防止モデルハウスはTVでも紹介され、全国から見学者

自然環境

妙見山や岡崎海岸の景色は素晴らしい、また妙見山は災害時の避難場所としても活用

生活環境

鳴門大塚スポーツパークがある、保育所・小中学校が近くて便利、県外へ行くのに交通の便が良い
…などなど

川東地区の地域福祉活動計画

★座談会で出された意見

鳴門大塚スポーツパークは、サークル活動やレクチャーが行われ、地域のスポーツ活動促進の役割を果たしている。商店街のおかげで地域外へ出なくても便利な生活が送れるが、最近はシャッターの閉まっているお店も多くなってきた。

川が汚い。清掃ボランティアも行われているが追いついていない。地震時の液状化が心配。マンパワー不足、情報共有が課題。

…など



川東地区の地域課題

大項目：地域コミュニティ「50歳代・60歳代の地域デビューをすすめるために」

●現状と課題

住民間のつながりが希薄化し、町内会活動の停滞に危機感を持っています。公民館でのサークル活動やボランティア活動は盛んですが、各組織・団体間の連携に課題を抱えています。さらに、町内会などの地域組織のリーダーや中心メンバーの高齢化と加入率の低下により、将来の担い手確保に不安を抱えています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	つながり	まずはご近所から「顔の見える関係」づくりに努めましょう。 回覧板に加えて新しい情報伝達・広報の方法について検討しましょう。 「いつでも・誰でも」参加できるイベントの開催について検討しましょう。
中間期	交流 連携	趣味のサークル・職域 OB・PTA・子ども会などと交流・連携できる機会の確保を図り、地域活動の参加につなげましょう。
終了期	担い手	壮年会（青年団と老人クラブの中間の組織）の創設に向けて検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - D・E	交流の場づくり、機会づくり



大項目：環境・空き家・道路「ゴミ出し・除草等のお手伝い、ゴミの不法投棄防止のしくみづくり」

●現状と課題

清掃ボランティア活動が実施されていますが、不法投棄やゴミ出しのルールの不徹底が多くなってきており対応に苦慮しています。

空き家・空き地が増加傾向で、動物による環境被害や不法投棄の要因となっています。また、防災・防犯の面においても課題となっています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	情報把握	ゴミ出し・除草等のお手伝いの需要の把握（高齢者世帯）に努めましょう。 空き家・空き地マップの作成を検討しましょう。 不法投棄の要因を再確認しましょう。
中間期	お手伝い	高齢者世帯のゴミ出し・除草等のお手伝いを地域で行うしくみづくりに向けて検討しましょう（有償・無償ボランティア）。
終了期	組織づくり	空き家を活用し、地域での居場所にすることを検討しましょう。 不法投棄のパトロールや撤去の組織づくりに向けて検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A	地域福祉コミュニティの活性化
II - ① - H	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携



大項目：防災・防犯「平常時から助け合えるご近所づくり」

●現状と課題

ご近所づきあいが希薄化してきており、発災時の「共助」について不安を抱えています。

避難訓練等は実施しているが参加者の減少がみられており、内容・回数の見直しを迫られています。災害弱者（高齢者・障がいのある方・乳幼児など）や、各世帯の何をして欲しいか・何ができるかという情報の把握に苦慮しています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	つながり	避難場所の確認・周知を図りましょう。 まずはご近所から「顔の見える関係」づくりに努めましょう。
中間期	訓練	現状の避難訓練の改善（全世代が参加できるように、夜間開催、予告なしなど）を図りましょう。
終了期	情報把握	災害弱者マップの作成について検討しましょう。 発災時に助けて欲しい・手伝って欲しいことを住民で共有できるようなしくみづくりについて検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化
II - ① - I	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - ① - M	地域福祉ネットワークの構築
III - ② - O	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



★里浦地区の魅力

里浦地区の地域福祉活動計画

歴史・文化

清少納言の墓、尼塚、諏訪神社の秋祭り、十二神社のお祭り、人丸神社、里浦観音寺(牡丹の寺、清少納言の祈願寺)、宝珠寺(薬師護摩祈禱会、大根たき)

人とのつながり

しきたりの強い土地柄、人情味豊か、協力をおしまない地域性

特産品・観光

灰干しわかめ、なると金時里むすめ、大根、鳴門わかめ

生活環境

里浦南防災センター、鳴門子ども学園、鳴門大塚スポーツパークが近くにある

…などなど

★座談会で出された意見

治安・防災に積極的で、消防分団や自治振興会が活発。農漁業を生計としている家が多く、三世代が同居している世帯も多い。医療機関や商店は地域にあまりなく、多くの住民は地区外に買物・通院しています。

…など



里浦地区の地域課題

大項目：地域コミュニティづくり「若い世代の地域への参加」

●現状と課題

若い世代や子どもが少なく、地域の伝統行事や隣組制の存続にも影響が出はじめてきています。消防分団員の確保も困難となりつつあり、このままでは地域活動が立ち行かなくなるおそれがあります。若い世代の地域活動への参加を促していくことが重要となっています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	既存行事を工夫	町内会活動への参加を増やすよう情報伝達手段を見直しましょう。 地域住民も参加できるような小学校行事を学校と連携して検討しましょう。 三世代が参加しやすいよう避難訓練開催時間を見直し、年一回定期的に開催しましょう。
中間期	新規イベントの実施	大手海岸等を利用して若い世代が楽しめる行事を企画・実施しましょう。 親子で参加できる地域行事を計画しましょう。 若い世代に地域活動に参加してもらうため、ポイント制ボランティアの導入について検討しましょう。
終了期	次世代への伝承	子どもから高齢者まで交流できる拠点をつくりましょう。 里浦の祭りを次世代に継承するために、若い世代に活動を伝えていきましょう。 子どもも地域の話し合いに参加できる機会をつくりましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - D・E・F・G	交流の場づくり、機会づくり



大項目：高齢者の見守り・介護「高齢者の日常生活の把握と地域でできる見守り活動」

●現状と課題

子どもや若い世代が少なくなってきており、地域住民の高齢化が進んでいます。近くに商店や病院がない地域事情もあり、日常生活はもとより緊急時の対応についても多くの住民が不安を抱えています。高齢者が安心して生活を送れるよう、地域で高齢者を見守り、サポートできる体制づくりが必要です。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	日々の見守り	お隣とのあいさつ運動をはじめましょう。(あいさつを通じて安否確認をしましょう) 地域で高齢者の安否を確認することをひろく周知し、活動を知ってもらいましょう。 ひとりぐらし高齢者を把握し、近所で見守り活動をしましょう。
中間期	困りごと支援	ひとりぐらし高齢者マップをつくり、地域全体で共有しましょう。 郵便局や新聞販売店とタイアップして高齢者を安否確認できる体制を協議・検討しましょう。 民生委員と各地域活動団体、地域包括支援センター等が連携・協力して安否確認や困りごとを相談できるしくみをつくりましょう。 困りごと解決の手伝いをする手助けグループを結成し、ニーズに沿ったお手伝い(有償、無償)活動をはじめましょう。
終了期	居場所づくり	地域にサロンを増やしひとりぐらし高齢者の参加を呼びかけましょう。 子どもから高齢者まで誰でも集える場所を地域につくりましょう。



○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I - ① - A・C	地域福祉コミュニティの活性化	III - ① - K・L	地域福祉ネットワークの構築
II - ① - H・I	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携	III - ② - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発

大項目：移動手段「買い物・外出の支え合いづくり」

●現状と課題

里浦地区には商店や病院がほとんどなく、買い物や通院は地区外にいかねばなりません。地域バスが巡回しているものの便数が少なく、地域住民は車で移動していますが、運転できない高齢者は移動が不自由になっており、通院・買い物など日常生活に支障が生じています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	つながりの強化	地域であいさつ運動をはじめ、近隣の高齢者の状況を把握しましょう。 近隣の高齢者への声掛けをおこない、ついでに買ってきてあげるサポート活動をひろめましょう。 買い物に困っている高齢者には移動販売・訪問販売など情報を提供しましょう。 地域訪問型販売の充実にむけて業者と地域とで話し合いましょう。
中間期	あらたな支え合い活動	移動支援を必要とする高齢者のリストを作成しましょう。 リストを利用して、グループで買い物や通院ができるしくみを考案しましょう。 有償ボランティアによる病院やスーパーへの送迎サービスを検討しましょう。
終了期	サービスの検討・協議	地域の高齢者の意見を集約し、既存のバス路線の運行時間について市と話し合いましょう。 地域に高齢者サポートセンターが設置できないか検討しましょう。 免許を返納した高齢者への新たな外出支援サービスが実施できないか、市と検討しましょう。



○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化	III - ① - L	地域福祉ネットワークの構築
II - ① - H	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携	III - ② - N・O	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発

★鳴門東地区の魅力

人とのつながり

住民同士があたたかく家族のようなつきあい、人情味あふれる町

特産品・観光

鳴門の渦潮、観潮船、大塚国際美術館、花見山の桜

食べ物

鳴門金時、大根、鯛、わかめ、らっきょう、鳴ちゅるうどん

自然環境

東海岸線の景色・竜宮の磯、千鳥が浜、らっきょうの花

…などなど

★座談会で出された意見

ホテル・渦潮・釣り・サーフィンスポットなど観光資源が多く連休などは賑わう。

南北に長い地区なので、大毛・土佐泊・黒山・野の集会所が防災備蓄や老人クラブ・婦人会活動の大事な拠点。

地域外に行くためには車を利用。渡船やバスはあるが車がないと不便。免許返納は重大事。

…など



鳴門東地区の地域課題

大項目：地域コミュニティ「地域活動に全世代が参加するために」

●現状と課題

地域の少子高齢化・人口減少に危機感を持っており、特に町内会、老人クラブ、婦人会といった地域のコミュニティを支える住民組織の力が低下していくことが懸念されています。

地域のかかわりの希薄化（中学生以上）を感じています。

若い世代が活躍できるイベント・組織づくりに課題を抱えています（将来の担い手育成）。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	広 報	SNS を活用したイベントや名所の広報について検討しましょう。 子どもたちに地域の魅力を伝える取り組みを考えましょう。
中間期	組 織	若い世代が地域で活躍できるよう、若い世代が中心となるイベントや自治振興会青年部の発足について検討しましょう。
終了期	担い手 イベント	子どもから高齢者までみんなが参加できるイベントの開催に向け検討しましょう（コミセンまつりと鳴東まつりのコラボ、祭りの活性化、鳴門東大運動会など）。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - D・E・F	交流の場づくり、機会づくり



大項目：家族・地域の変化、地域コミュニティ、子どもの育ち・子育て
「小学校との連携・小学校の活用で地域を活性化するために」

●現状と課題

少子化が進む中、「地域から小学校がなくなってしまうたら地域は廃れてしまう」との思いが強く、小学校の存続に不安を感じています。
子育て世代の地域外への転出が多く、危機感を抱いています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	広 報 連 携	多くの人に幼稚園・小学校の良いところを発信する方法について検討しましょう（SNS など）。 小学校と鳴教大との連携について検討しましょう（大学生の地域交流体験）。
中間期	しくみ づくり	学校行事（運動会・草抜きなど）に積極的に協力してもらえる地域協力員・学校協力員のようなくみづくりについて検討しましょう。
終了期	イベント	鳴門東大運動会の開催について検討しましょう。 空き家を子育て世代に安く貸す方法について検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - E・F	交流の場づくり、機会づくり
II - ① - J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携



大項目：移動手段、生活上の困りごと「外出・買い物の助け合い・支え合いのしくみづくり」

●現状と課題

バスや渡船はあるが本数が少なく不便を感じています。
自動車の利用が前提の生活で、自動車がないと不自由が生じ免許返納できない状況となっています
（地域内に商店・医療機関が少なく、地域外に買い物・通院に出かけている。また、子どもが遊び
や買い物に行くにも親の送迎が必要）。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	サービス	移動スーパー・生協・ネット通販の利用を勧めましょう（地域でのとりまとめも考える）。 往診・訪問看護の利用に向けて検討しましょう。
中間期	しくみ づくり	有償ボランティアや NPO 団体による外出支援のしくみづくりについて検討しましょう。
終了期		ミニスーパーや定期的な診療所（集会所や空き家を有効利用）の開設について検討しまし よう（買い物や受診できるところを創り出す）。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - G	交流の場づくり、機会づくり
II - ① - H	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - ① - L	地域福祉ネットワークの構築



★鳴門西地区の魅力

活動・イベント

消防団活動、鳴西連(阿波おどり)、ちょぼら、体操教室、公民館活動、防犯パトロール
人とのつながり

子育て世代に優しい地域、転入者も受け入れてくれる地域、子どもたちが多く元気
生活環境

鳴門ウチノ海総合公園、幼保連携型認定こども園 IZUMI、成稔幼稚園、鳴門西小学校、
鳴門中学校、鳴門教育大学、渡船、国道 11 号線にアクセスがよい、きれいな街並み
…などなど

★座談会で出された意見

徳島市や北島町などへのアクセスがよく、若い世代の転入者が多く人口が増えている。子どもも増えていて活気がある。人の資源が豊富でボランティアをはじめ、地域活動が盛ん。大きなスーパーがないため、渡船や車を利用して町外に買い物に行く人が多い。

…など



鳴門西地区の地域課題

大項目：地域コミュニティづくり「近所の人との付き合いを深めるために」

●現状と課題

転入世帯が増えてきていますが、町内会に加入しないなど地域のつながり意識が希薄化している状況がみられます。近隣のつきあいを深めながら、地域住民が一丸となって活動を広げていきたいと考えています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	出会いをつくる	近所で声掛けや挨拶を交わす運動をはじめましょう。 転入してきた住民にも地域の活動や情報を知ってもらうため、広報活動を強化しましょう。 子どもたちが積極的に地域と関わる機会をつくりましょう。
中間期	ふれあいを増やす	近所のひとりぐらしの高齢者への声掛け運動をひろめましょう。 学校と連携して町民運動会を開催するなど、近隣者どうしのつながりが深まるイベントを企画しましょう。
終了期	助け合う	地域の人材バンクを構築し、困っている近隣者のお手伝いができるような仕組みをつくりましょう。 寺小屋的な学習会をひらき、子育てや子どもの学力向上を地域で支えましょう。 誰もが気軽に立ち寄れて集える場所を地域につくりましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - E・F・G	交流の場づくり、機会づくり



大項目：生活上の困りごと「買物や外出に困っている方に地域でできる支援を考えよう」

●現状と課題

バスや渡船などは便数が少なく、車を運転できないと買い物や通院などの外出に不自由が生じます。特に高齢者世帯では免許証を返納したあとの生活に不安を感じている現状があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	調査把握	外出に困っている方がどれくらいいるのか、どんな支援を望んでいるのかを調べましょう。地域の人々が利用できるサービスやボランティアについて調べましょう。
中間期	しくみづくり	地域の高齢者等を対象としたパソコン教室やスマホ教室を開き、ネットを利用した買い物ができるよう支援しましょう。 買い物や移動を手伝ってくれる組織をつくりましょう。 有料移送サービスや商品購入のお手伝い等、外出に困っている住民を地域が組織的に支援する仕組みを考えましょう。
終了期	場所コミュニティ	若い世代にも外出・買い物支援を手伝ってもらえるようなコミュニティをつくりましょう。地域住民が集い、日常品や食料も買えるようなコミュニティカフェを運営できないか検討しましょう。



○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B	地域福祉コミュニティの活性化	III - ① - K・L	地域福祉ネットワークの構築
I - ② - D・G	交流の場づくり、機会づくり	III - ② - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発
II - ① - H・J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携		

大項目：高齢者の見守り活動「高齢者世帯を地域全体で見守り支えるためにできること」

●現状と課題

地域で暮らすひとりぐらしの高齢者が増加してきています。孤立死の防止のための安否確認や、認知症高齢者の見守りなど、地域で高齢者を支えるネットワークや活動が必要になっています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	きっかけづくり	市や市社協と連携して地域の認知症サポーターを増やしましょう。 自治会や学校・幼稚園から発信基地として、地域全体のあいさつ運動をひろめましょう。 ご近所を知るためのキャンペーン活動を考案・実施しましょう。
中間期	ニーズ・サポート	高齢者が困っていることを周りに意思表示できる「鳴門西ヘルプカード」の導入を検討しましょう。 高齢者のみの世帯やひとりぐらし高齢者世帯を把握している民生委員の活動を支援するサポートメンバーを見つけ、養成しましょう。 子どもたちも参加した見守り運動をはじめましょう。
終了期	場所づくり	子どもから高齢者まで、誰でもいつでも気軽に集える場所を開設しましょう。



○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化	III - ① - K・L	地域福祉ネットワークの構築
I - ② - D・F	交流の場づくり、機会づくり	III - ② - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発
II - ① - H・I	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携		

★瀬戸地区の魅力

人とのつながり

昔ながらの住民と新しい住民の間に対立がない、一旦仲良くなると親密さ絶大

歴史・文化

大元神社の秋祭り、阿波井神社、瀬戸節踊、信仰心が厚く先祖を大切にする

食べ物

新鮮な魚、島田島のみかん、わかめ

自然環境

島田島の古代ハス、島田島スカイライン、魚釣りの聖地

…などなど

瀬戸地区の地域福祉活動計画

★座談会で出された意見

地域によっては施設・病院は少ないが、NPO・いきいきサロン・親子ひろばなどの活動が盛ん。お墓も交流の場所となっている。

食料品を売っているお店が少なく野菜が手に入らない。

移動販売はあるがボランティアだけでは解決できない。

商店・病院は明神に集中。堂浦・北迫・島田は過疎化・

超高齢化という二極化。

…な



瀬戸地区の地域課題

大項目：地域コミュニティ「高齢者が安心して暮らせる街づくり」

●現状と課題

住民活動が活発で住民同士のつながりが強い地域ですが、もう少し親密にご近所づきあいがしたい、世代間のコミュニケーションをとりたいと考えています。

高齢者が暮らしやすくなるためには若い世代の力が不可欠と考えていますが、地域の高齢者世代と子どもや子育て世代との交流機会が少ない現状にあります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	健康情報	健康で長生きできるよう日常生活の工夫に努めましょう。 高齢者の情報を把握しましょう。 地域の団体の広報や趣味のサークルの結成について検討しましょう。
中間期	機会づくり	若い世代の地域活動への参加・協力につなげるため意見を聞く機会を設けましょう。
終了期	組織居場所づくり	空き家などを利用した居場所づくりについて検討しましょう。 青年団の再結成に向けて検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - D	交流の場づくり、機会づくり
II - ① - H・I	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携



大項目：移動手段 「助け合いで繋がる移動支援」

●現状と課題

NPO・いきいきサロンなどの活動が盛んですが、商店・金融機関・病院などの資源が少ない地域事情があります。

公共交通機関についても不便を感じており、車の利用ができなくなった場合の地域での助け合いの必要性を感じています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	情 報	移送サービスの情報をまとめ、各家庭に周知しましょう。 いきいきサロンを情報交換の場として活用しましょう。
中間期	つきあい	乗り合わせやついでに買ってきてもらえる関係づくりに努めましょう（ご近所づきあいを大切にしよう）。
終了期	しくみづくり	歩いて買い物に行ける場所（おおぞら市場・販売所）の創設に向けて検討しましょう（地域の方が作って余った野菜などを売る）。 有償ボランティアのしくみづくりについて検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B	地域福祉コミュニティの活性化
II - ① - H・J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - ① - L	地域福祉ネットワークの構築



大項目：地域コミュニティ 「地域で安心して暮らす為の見守り体制づくり」

●現状と課題

ひとりぐらし高齢者や高齢者だけで生活している世帯が増えてきています。高齢者が安心して暮らせるよう、地域で安否確認や見守りなど、高齢者を支える体制を整えていく必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	情 報	地域で活動している人・組織（民生委員・老人クラブ・婦人会・サロン・町内会など）の情報発信に努めましょう。 回覧板制度の見直しについて検討しましょう。
中間期	把 握	若い世代・退職してすぐの世代の地域活動への参加・協力につなげるため意見を聞く機会を設けましょう。
終了期	連 携	自治会・社協・民生委員・老人クラブ・婦人会・ボランティア団体などの連携を強化し、見守り体制の強化に努めましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - D	交流の場づくり、機会づくり
III - ① - K・L	地域福祉ネットワークの構築
III - ② - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



★大津地区の魅力

人とのつながり

昔からの住民が多く、おせっかい（住民同士のおつきあい）が残っている

特産品・観光

梨・れんこん・鳴門金時の全国的な産地（肥沃な土地・高品質）

歴史・文化

大幸若宮八幡神社の楠、大代古墳、神社のお祭りにアイドルが参加

自然環境

自然災害が少ない、コウノトリが飛んでくる

…などなど

★座談会で出された意見

神社やお寺、フルーツやコウノトリのスポットとして有名。商店・介護施設・警察・避難場所などが東の方に集まっている。

車に頼る生活で車がないと動けない。移動手段は今後の課題。高速道路に避難所がある。渦潮高校・四国機器にも防災グッズや備蓄品が置いてある。子どもの遊び場が少ない

…など



大津地区の地域課題

大項目：地域コミュニティ「地域のつながりを再構築するために」

●現状と課題

住民のつながり（新旧住民・農家と非農家・世代間など）の希薄化を感じています。
若い世代・子育て世代の地域活動への参加が少なく、将来的に地域活動の後継者の確保に危機感を抱いています（伝統行事の存続など）。
農業においても後継者不足に課題を抱えています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	つながり	隣近所のあいさつ運動に努めましょう。 若い世代の参加を促すためアンケート調査の実施に向けて検討しましょう。 地域活動のPR・お知らせの発信方法を再検討しましょう（SNSなど）。
中間期	交流	家族で参加しやすいイベント（フリーマーケット・町民運動会など）の開催に向けて検討しましょう。
終了期	担い手	大津地区ならではのイベント（ジャンボ農作物大会・神輿・獅子舞など）の開催に向け検討しましょう（将来の担い手の育成）。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - E	交流の場づくり、機会づくり



大項目：移動手段「移動手段確保（買い物・通院等）のしくみづくり」

●現状と課題

公共施設・商店・医療機関・福祉施設が地域の東に集まっており、車を利用して地域外の資源を利用している住民も多い状況にあります。
核家族やひとりぐらし高齢者・免許証返納者が増える中、交通の便が悪く、買い物・通院等において移動手段の確保が課題となっています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	健康 情報把握	高齢になっても自分の足で活動できるよう健康づくりに努めましょう。 地域に移動困難な人がどの程度いるのが、情報の把握を図りましょう（マップの作成など）。
中間期	サービス	移動販売や往診などのサービスを地域に呼ぶことを検討しましょう。
終了期	しくみ づくり	隣近所の御用聞きのしくみやボランティアによる移動手段確保のしくみづくりについて検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A	地域福祉コミュニティの活性化
II - ① - H・I	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - ② - O	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



大項目：防災・防犯「平常時からの「互近助（ごきんじょ）」づくり」

●現状と課題

住民には地震や津波に対する危機感があり、実戦的な訓練を実施したいと考えていますが、積極的な訓練参加者が少ないことが課題となっています。
防災知識や避難場所・避難所について住民に周知・理解が不足していると感じています。
消防団等の後継者・地域内のネットワークなど、組織体制に課題を抱えています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	つながり 情報把握	平常時からのご近所づくりに努めましょう（まずはあいさつから）。 ひとりぐらし高齢者等の情報の把握・共有について検討しましょう。
中間期	周知	各家庭での防災活動（情報収集・備蓄など）をすすめましょう。 避難場所・避難所の確認と周知について検討しましょう。
終了期	しくみ づくり	より多くの住民が参加できる訓練について検討しましょう（内容・日程・回数など）。 地域全体のネットワークづくりに向けて検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・C	地域福祉コミュニティの活性化
II - ① - J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - ① - M	地域福祉ネットワークの構築



★北灘地区の魅力

北灘地区の地域福祉活動計画

歴史・文化

葛城神社（目の神様・お練り・獅子舞）、伝統あるお祭り（北灘祭・折野の祭り）、鬼骨寺人とのつながり

自治振興会や老人クラブ・婦人会活動が盛んで住民のつながりが強い、世話好きな人・人情味豊かな人が多い、団結力がある

食べ物

北灘特産渦潮鍋、新鮮で美味しい魚介類、わかめ、婦人会の「焼肉のたれ」

自然環境

きれいな夕日と海、うずしおロマンティック海道、豊かな自然、美しい海と山の自然景観
…などなど

★座談会で出された意見

自治会や老人クラブ、婦人会やボランティアなどの活発に活動してくれる住民によって北灘地区は支えられている。

学校や医療施設、金融機関、商店はないが、食事ができるところは多い。

若い世代が少ない。働く場がないので地区外に働きにでていき昼間は不在になりがち。 …など



北灘地区の地域課題

大項目：地域コミュニティづくり「若い世代の地域への参加」

●現状と課題

人のつながりが強い地域で地域活動も活発です。しかし少子化や若い世代の転出等により地域の人口が減少し高齢化しています。地域活動や伝統行事を維持・継承していくためには若い世代に地域参加を促していく必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	交流づくり	公民館を拠点として囲碁・将棋教室等を定期的に催し、子どもたちとシニア世代との交流を増やしましょう。 カラオケ大会やグランドゴルフなど三世代で楽しめる地域のイベントを企画しましょう。 SNS などを活用して、地域のイベントやお祭りの情報を広く発信し、若い世代へ参加を呼びかけましょう。
中間期	イベント	若いグループ（活性化会議・NPO・子育てママ）に主体となってイベントを企画してもらい、地域でサポートして開催しましょう。 地域活動団体と若いグループとの交流機会を増やし、地域の活性化にむけた話し合いを増やしましょう。
終了期	活性化	空き地や空き家等を利用して地域住民が交流できる場所を見つけましょう。 若い世代が魅力を感じ、北灘地区に住みたいと思えるような地域にするため、空き家の無償提供や若い世代の担い手づくりについて検討しましょう。 サイクリングロードの事業企画を利用して、若い世代と地域との交流を深めましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化	I - ② - D・E	交流の場づくり、機会づくり
---------------	----------------	-------------	---------------

大項目：地域コミュニティづくり「見守り活動で孤立をなくそう」

●現状と課題

北灘地区は地域活動がさかんで、支え合い精神が豊かな地域ですが、子どもや若い世代の人口が少なく、また家屋が密集していない集落もあり、特に高齢者や障がい者世帯が孤立する危険性が高まっています。社会的な孤立は生きがいの低下や消費者被害を招く大きな要因となるため、こうした住民を地域で見守っていく必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	声かけ 集 い	近所の方を集めて定期的にお茶会を催しましょう。 村人声掛けあいさつ運動を始めましょう。 定期的にひとりぐらし高齢者宅を巡回できる地域活動を企画しましょう。 地域住民が集まりやすい場所（公民館、お店、学校施設）を利用して高齢者のサークル活動をひろげましょう。
中間期	連 携 連 絡	民生委員や町内会で協力して、地域のひとりぐらし高齢者マップを作成しましょう。 近隣同士で緊急連絡先を共有できるよう地域で話し合いをしましょう。 新聞配達業者や検針員等に協力を求め、気になる世帯の情報を地域に連絡してもらうしくみをつくりましょう。
終了期	新たな見 守り活動	若い世代や子どもでもできる見守り活動を考案しましょう。 ひとりぐらし高齢者同士が連絡しあう取組みを検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化	III - ① - K・M	地域福祉ネットワークの構築
II - ① - H	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携	III - ② - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発

大項目：移動手段「買い物・外出の支え合いづくり」

●現状と課題

地区内に商店や金融機関はほとんどなく、医療機関もありません。バスの運行便数も少ないため、地域住民は生活関連サービスと移動手段に不便を感じています。特に運転ができない高齢者は家族のサポートがないと、通院や買い物のための外出ができず生活に支障がでるため、解決方法を考える必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	お手伝い 活 動	移動販売業者に依頼して、移動販売を活用した買い物支援を地域で拡大・充実させましょう。 隣近所で相乗りして外出や買い物を支援する活動について検討しましょう。 運転のできる住民が、外出するついでに近隣の高齢者が要望する商品等を買ってくるお手伝い活動をはじめましょう。
中間期	協力体制	高齢者がネット通販を利用して買い物ができるように、地域でサポートしましょう。 移動支援を目的とするボランティア活動団体のたちあげ、高齢者とボランティア団体との連絡調整等について検討しましょう。
終了期	協 議 交 渉	家からバス停までの移動を支援する方法について、バス・タクシー会社等と交渉しましょう。 地区で買い物ができる簡易スーパーの開店や空き家を利用した商店の再興について検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - F・G	交流の場づくり、機会づくり
II - ① - H	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携



★大麻地区の魅力

歴史・文化

大麻比古神社、四国八十八ヶ所(一番札所靈山寺・二番札所極楽寺)、お接待の心、ドイツ館(ドイツとの交流)、第九アジア初演の地、松の獅子舞、大谷焼、賀川豊彦記念館人とのつながり

みんなやる気・元気・根気がある、女性が強い、自治会活動に協力的

自然環境

コウノトリ、大谷川(桜並木・蛍)、旧吉野川、大麻山

…などなど

★座談会で出された意見

大麻比古神社、一番・二番札所、ドイツ館、第九アジア初演の地などすばらしい名所を抱える。

町内に大型の商店が少ないのが課題。他の地域に買い物に行く。

地区社協・民生委員・町内会・老人クラブ・婦人会・子ども会など人の資源が豊富。

町内の福祉施設・高齢者施設と地域との交流が盛ん

…など



大麻地区の地域課題

大項目：地域コミュニティ「若い世代の地域への参加」

●現状と課題

自治会や老人クラブ・婦人会・子ども会などの地域活動が活発な地域だが、若い世代の地域活動への参加・協力で課題を抱えており、世代間・世代同士の交流の機会を持ちたいと考えています。地域活動やお祭りなどの伝統行事の存続について後継者の確保・育成に危機感を持っています。

＜課題解決のために＞

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	情 報	若い世代が目にする方法での地域活動の周知方法について検討しましょう(インターネット・SNS など)。 若い世代の意見を聞く機会を設けましょう(座談会・ニーズ調査など)。
中間期	交 流	若い世代同士が交流できる機会・イベントの創設に向けて検討しましょう(ママ友向けなど)。
終了期	担い手	子どもから高齢者まで全世代が参加できるイベントの創設に向けて検討しましょう(既存のイベントの活用も)。 次世代の人材育成を図りましょう(若い世代のリーダー・伝統行事の後継者)。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - D・E	交流の場づくり、機会づくり



大項目：地域コミュニティ「高齢者や障がいのある方とのつながりを深めるために」

●現状と課題

地域内には高齢者施設・福祉施設があり、地域と祭りや芋掘り、運動会などを通じた交流が盛んだが、施設だけでなく増加傾向にある地域のひとりぐらし高齢者や認知症の方、障がいのある方とも交流し理解を深めたいと考えています。

地域内には何かあったときに対する不安を抱えているひとりぐらし高齢者もいます。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	情報把握	高齢者・障がい者の情報把握を図りましょう(名簿・マップ作成など)。あいさつから始め顔見知りになれるよう努めましょう。
中間期	理 解	高齢・障がいへの理解を深めるため、勉強会や施設見学会を開催しましょう。
終了期	しくみづくり	ヘルプカード(自分がお手伝い出来る事を表示)のしくみづくりについて検討しましょう。誰もが気軽に集える場(カフェのような)づくりについて検討しましょう。アンケート調査(地域でどれだけ理解や周知が進んだか)の実施に向けて検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I - ① - A・C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - D・F	交流の場づくり、機会づくり
II - ① - J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - ① - L	地域福祉ネットワークの構築
III - ② - N・O	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



大項目：生活上の困りごと「一人ひとりの困りごとをみんなで解決できるためのネットワークを作ろう」

●現状と課題

個人主義・他者への無関心化が進み、昔ながらのおせっかいや世話役、キーパーソンが少なくなってきたおり、地域のつながりの希薄化を感じています。

つながりの希薄化により、「困ったときに助けを求めることができないのでは…」と危機感を抱いています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	つながり	隣近所の交流を密にする(あいさつ運動から)。困りごと・悩みごと投書箱の設置に向けて検討する。
中間期	情 報	サロンやイベントの参加について分かりやすい周知に努める。社協・民生委員・老人クラブなど地域の組織間で情報交換できる場づくりについて検討する。
終了期	居場所づくり	子どもから高齢者までが集い、過ごせる居場所づくりについて検討する(多目的広場的なもの、使用しなくなった施設の利用)。移動式困りごと相談室の設置に向けて検討する。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I - ① - A・C	地域福祉コミュニティの活性化
II - ① - H・I・J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - ① - L	地域福祉ネットワークの構築
III - ② - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



第四章 鳴門市社会福祉協議会の活動計画

一 社会福祉協議会の役割

社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的として、民間組織としての自主性と、公益性・公共性の2つの側面をあわせもつ民間の非営利団体です。また、社会福祉法人は、利用者本位の社会福祉制度を確立するという基本的な考えにたち、住民が身近な地域で多様な福祉サービスを利用し、自立した生活を送ることを支援する仕組みを構築していく役割を担うこととされていますが、特に公共的な性格を有する社会福祉協議会においては、地域福祉の推進の中心的担い手としての役割が、社会福祉法にも明確に位置づけられています。

現在の社会福祉協議会の活動は、事業者間の連絡調整にとどまらず、社会福祉活動への

住民参加を推進するための事業や住民参加による社会福祉を目的とする事業の実施が中心となつていますが、一部の市区町村協議会では、見守り相談室の設置や法人後見事業など、地域の実情やニーズにあった新しい事業に取り組みはじめており、これからの社会福祉協議会には、公共性を活かして行政とのパートナーシップを押し進めながら、福祉課題全般に関する地域の新しい課題、特に制度のはざまに類する福祉的課題にどのように応えていくのか、その解決にむけた役割への期待が大きく膨らんでいます。

一 鳴門市社会福祉協議会の現状と課題

鳴門市が平成27年度に「地域福祉に関する市民アンケート調査」を実施したところ、鳴門市社会福祉協議会の名前も活動内容も知らないと回答した人の割合は全体の32.5%もあり、地

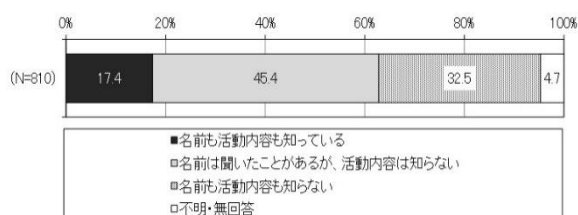
域福祉を推進する民間団体として鳴門市社会福祉協議会が、市民にあまり認知されていない現状が明らかとなりました。



社協シンボルマーク

(23) 鳴門市社会福祉協議会について〈ひとつだけ〇〉(問23)

鳴門市社会福祉協議会を知っているかについてみると、「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が45.4%と最も高く、次いで「名前も活動内容も知らない」が32.5%、「名前も活動内容も知っている」が17.4%となっています。



また、地域福祉計画及び地域福祉活動計画の策定にあたって開催した市民会議や地域座談会の場においても、地域課題の解決のために社協に担ってもらいたいとする意見がほとんど挙がらないという状況も見受けられました。

鳴門市社会福祉協議会では、こうした状況をうけて、これまで実施してきた事業や活動をあらためて見直すとともに、このたび本市13地区で挙げられたそれぞれの地域課題について、地域や市民の期待にこたえべく、社協として新たな活動や支援、事業等を展開していく必要があると考えます。

そこで、今後市社協で実施・展開していく活動計画の基本方針と重点目標を次のように定め、目標達成にむけた具体的な取り組みについても計画に明記することとしました。

～一人ひとりが輝く存在～

『一人の生命は全地球よりも重い』という言葉は耳にされたことはありませんか。この言葉は、明治時代の著書『西国立志編』の序文にある一文だそうですが、平成に至る今日にあっても色あせることなく、人の生命の重さや尊さを問いかけています。生命は、すべてがかけがえのないものであり、決しておろそかにしてはなりません。

私たちがめざす地域福祉でも、この生命の尊重という考え方が根幹にあります。一人ひとりが愛おしまれ、輝く存在であるということを互いに認め合えなければ、そこには対立関係や孤立してしまう不安感が生じてしまいます。

すべての人が、人としての尊厳を守られる地域社会の実現こそが、私たちがめざす「誰もが暮らしやすいまち」なのではないでしょうか。



三 活動の基本目標・主要な施策・重点施策

基本目標Ⅰ. 地域の課題を共に考え、互いに助け合う関係づくり		
主要な施策①	Ⅰ-①地域の福祉活動活性化に向けた仕組みづくりの促進（地域福祉コミュニティの活性化）	
	重点施策	取組事項番号
	A 市民活動の役割を分担し、みんなで活動に取組めるよう支援	①③⑥⑩
	B 定年退職者や転入者などの地域参加への取組み推進	①⑩⑬⑪⑳
主要な施策②	C コミュニティ活動をPRして加入促進を図る	⑥⑧⑪⑯
	Ⅰ-②地域づくりに向けた市民意識の醸成（交流の場づくり、機会づくり）	
	重点施策	取組事項番号
	D 地域活動の支援者の研修会、交流会を開催してスキルアップを図る	①⑬
	E 幅広い世代が参加できるような地域行事の活性化	①⑧⑨⑪
主要な施策③	F 地域の保育所（園）、認定こども園、幼稚園や学校などとタイアップした地域福祉活動を行う	①⑭
	G 地域住民・企業・学校等が行うボランティア体験に協力する	⑫⑭
基本目標Ⅱ. 必要とする福祉サービスを利用しやすい体制づくり		
主要な施策③	Ⅱ-①福祉サービスの適正な利用促進（社会福祉協議会の機能拡充と地域連携）	
	重点施策	取組事項番号
	H 各分野の公的制度等の狭間や複合的な課題への対応	①⑦⑱
	I 総合相談体制の充実	①②③⑥
主要な施策④	J 地域のニュースを情報発信し、みんなに知ってもらい関心をもってもらう	①⑧⑨⑯
基本目標Ⅲ. 安心・安全に地域で生活できる環境づくり		
主要な施策④	Ⅲ-①支援を必要とする人を支えるネットワークづくりの促進（地域福祉ネットワークの構築）	
	重点施策	取組事項番号
	K 地域と社協、地域と地域のつながりを密にして、見守りを行う	①③⑥⑦⑨
	L 高齢者、障がい者、子ども等各分野の事業所間の連携と情報交換を行う	⑪⑱⑲
主要な施策⑤	M 住民、高齢者施設、障がい者施設、保育所などと協力し防災訓練を行う	④⑤
	Ⅲ-②地域での自立した生活の支援（ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発）	
	重点施策	取組事項番号
	N 身近なふれあいの場を増やし、助け合いの気持ちを根付かせる	①⑥⑬⑭⑰
	O 助けを求めることへの抵抗感を少なくする環境づくり	⑦⑬⑮

四 鳴門市社会福祉協議会の重点的取組事項

鳴門市社会福祉協議会の活動計画では、3つの基本目標、5つの主要な施策のもとに、次の20事項を重点的取組事項とします。特に今後5年間に重点的に取組む事項については、事項名の前に「★」印を付けています。

事項番号	重点的取組事項	取組内容	スケジュール		
			開始期	中間期	終了期
①	★コミュニティソーシャルワーカー(CSW)配置事業	地域でのセーフティネットの体制づくりなど、地域福祉推進事業の担い手として、コミュニティソーシャルワーカーを配置します。			
②	★福祉なんでも相談窓口設置事業	地域の身近な相談拠点として、市内各13地区になんでも相談窓口を関係機関との連携のもとで設置します。			
③	★地域福祉ネットワーク活動の推進	地域住民により要援護者を対象とした見守り・声かけ活動など予防・予知・ニーズの発見活動及び個別援助活動が展開されるような体制づくりを支援し、地域福祉ネットワークの構築及び活動の促進を図ります。			
④	★地域防災福祉マップづくり支援事業	地域で暮らす障がい者やひとり暮らし高齢者等、避難行動要支援者への災害時における避難支援に活用するための防災福祉マップを、地域が主体となって作成できるよう支援します。			
⑤	防災・減災推進事業	災害に強い地域づくりを目指し、減災学習・研修・勉強会・地域の避難訓練・避難所運営訓練・炊き出し訓練・防災イベント・図上訓練などを実施します。			
⑥	地域福祉活動支援センターの設置	集会所や市内福祉施設等に地域福祉活動を推進していく拠点として「地域福祉活動支援センター」の設置を検討するとともに、CSWを配置し、地域力の向上のために、地域福祉の担い手づくりやボランティア、地域活動の支援拠点としての機能強化をめざします。			
⑦	★全戸訪問ローラー作戦事業	なんでも相談窓口の活性化と、地域住民の暮らしの実態を把握するため、町内会・民生委員等と協議の上、連携を図り、13地区内でエリアを決めて全戸訪問する「ローラー作戦」を実施します。			

事項 番号	重点的取組事項	取組内容	スケジュール		
			かいしき 開始期	ちゅうかんき 中間期	しゅうりょうき 終了期
⑧	ちくしゃかいふくしきょうぎかい 地区社会福祉協議会 かつどうしんしんじぎょう 活動推進事業	ちいき かだいはいけつ とりく ちくしゃかいふくしきょうぎかい 地域の課題解決のための取組みを地区社会福祉協議会が 主体的に実施できるよう支援を行います。また ちくしゃかいふくしきょうぎかい かつどう おお しみん し 地区社会福祉協議会の活動をより多くの市民に知っても らうための情報発信力を高めます。			
⑨	ちくしゃかいふくしきょうぎかい 地区社会福祉協議会 いけんこうかいかい かいさい 意見交換会の開催	ちくしゃかいふくしきょうぎかい そうご じょうほうこうかん ば 地区社会福祉協議会が相互に情報交換できる場をつく り、かつどうじれい ほうこくとう ちくしゃかいふくしきょうぎかい かつどう 活動事例の報告等により地区社会福祉協議会の活動 の活性化を促進します。			
⑩	ゆうりょうせいけつしえん 有料生活支援サービス の検討・実施	せんもんか しょくぎょう えんじょ ごじょ せいしん 専門家による職業としての援助ではなく、互助の精神 を基盤とした市民による社会奉仕活動の一環として、 じゅうみんさんかた ゆうりょう ひえいり ざいたくふくし 住民参加型の有料（非営利）在宅福祉サービスについて けんとう 検討します。			
⑪	しょうちいきかつせいか 小地域活性化 モデル事業	ちくしゃきょう なか ちく してい じんざいいくせい 13地区社協の中からモデル地区を指定し、人材育成や こうりゅうそくしん かつせい じぎょう じっし 交流促進、コミュニティ活性のための事業を実施しま す。			
⑫	ボランティアコーディネーター機能の充実	こじんおよ せせつ だんだいとう ぼしゅういらい 個人及び施設、団体等からのボランティア募集依頼をう けつけ、登録ボランティアを中心としたコーディネート を実施します。			
⑬	ふくしこうえんかいとう かいさい 福祉講演会等の開催	しみん ちいきふくし かん いしき じょうせい はか ししききょう 市民の地域福祉に関する意識の醸成を図るため、市社協 において、福祉講演会を開催します。また、地区社協が ふくしこうえんかいとう かいさい ちくしゃきょう 福祉講演会等を開催するにあたっては、講師紹介など せっきよくてき しえん 積極的にこれを支援します。			
⑭	がっこう れんけい 学校との連携による 福祉出前授業の実施	ししききょう かつどうだんたい ふくしせいとつしきょういん 市社協やボランティア活動団体、福祉施設等職員による ふくしでまえじぎょう かいさい たいげんかつどう こ つよ とりま 福祉出前授業を開催し、体験活動や個々の強みや取り巻 く環境に着目して考える福祉教育を通じて、若い世代 の地域福祉意識の醸成を推進します。			
⑮	ほうじんこうけんじぎょう けんとう 法人後見事業の検討	はんだんのうりよく ていか しみん けんり ざいさん まも 判断能力が低下した市民の権利と財産を守るための せいねんこうけんじぎょう ほうじんこうけん どうにゅう けんとう 成年後見事業（法人後見）の導入を検討します。			
⑯	ちくしゃきょうこうほうかつどう 地区社協広報活動の 充実	ちくしゃきょう かつどう ひろ しみん し かつどう さんか 地区社協の活動を広く市民に知ってもらい、活動に参加 してもらうため、市社協のホームページに地区社協の じぎょうないよう かつどうしゃしん かいさい 事業内容や活動写真を掲載します。			
⑰	ちいききよてん 地域拠点づくりに むく 向けた支援	せだい へだ ちいきじゅうみん きさる つど ちいききよてん 世代を隔てることなく地域住民が気軽に集える地域拠点 づくりに向け、行政やNPO法人等との連携により空き家 どうちいきしげん かつよう きよてん しえん おこな 等地域資源を活用した拠点づくりへの支援を行います。			

事項 番号	重点的取組事項	とりくみないよう 取組内容	スケジュール		
			かいしき 開始期	ちゅうかんき 中間期	しゅうりょうき 終了期
⑮	かいごほけんがいほうもんかいご 介護保険外訪問介護 サービス事業	かいごほけん しょう ふくしせいど はざま 介護保険や 障がい福祉制度の狭間でヘルパーがで きないサービスについて、日頃慣れ親しんだヘルパーによる あんしん しょう じつし こうれいしゃ しょう しゃ 安心した支援サービスを実施し、高齢者や 障がい者の せいかつしえん およ かぞく ふたんがいげん はか 生活支援、及び家族の負担軽減を図ります。			
⑯	しょう しゃしゅうろうしえんし 障がい者就労支援施設との連携による移動 販売の実施検討	しょう しゃしゅうろうしえんしせつ れんけい か もの かん 障がい者就労支援施設との連携により、買い物に関する ニーズの多い地域への移動販売の実施に向けて検討を おこな 行います			
⑰	ふくしゅうしょううんそうじぎょう 福祉有償運送事業の 実施検討	えんかくちとう きょじゅう ようえんごしゃ つういん か ものとう 遠隔地等に居住している要援護者の通院や買い物等に ついて、ガソリン代と送迎者の最低賃金を利用者負担と する福祉有償運送事業の実施にむけた検討を行います。			

第五章 計画の推進にあたって

一 計画の周知広報

広報誌、ホームページなどにより本計画を公表するとともに、地区社会福祉協議会、地域の各種団体、関係機関等に計画書を配布することにより計画の周知広報を図ります。また、各地区で地域座談会を開催し、計画策定の報告及び内容の説明等を行います。

二 計画の進め方

本計画は、基本理念である「みんなが考え、安心してしあわせに暮らすこと」が出来る地域共生社会の実現をめざして、市と社会福祉協議会との連携のもと、市民、地域の各種団体、ボランティア、福祉サービス事業者等と連携・協力し、それぞれの役割を果たすことにより、取り組んでいくものです。

計画の推進にあたっては、地域福祉の担い手である市民の主体性を最大限に尊重し、地域福祉の取り組みを進めていきます。



計画を実行するためにみんなができること

住民・地域の役割

地域福祉を推進していくためには、市民や地域が積極的に地域福祉活動に参加していくことが重要です。地域での助け合い、支え合いの関係をつくっていくとともに、地域課題を自らの問題として受け止め、地域福祉の担い手として、声かけや手伝いなど、自分がすぐにでも取り組めることから、具体的な地域福祉活動へつなげていくことが期待されます。

そのため、各種研修や講座、地域の集まり、地域活動、ボランティア活動に積極的に参加することが望めます。

地区社協・地域活動団体等の役割

地域では福祉活動の充実が図られてきており、各種団体の活動も活発化しています。住民の身近な地域で活動する自治会や地区コミュニティ、老人クラブ、公益活動や市民活動を行う団体、さまざまな事業を展開するNPO法人等、多くの団体が地域での福祉活動に取り組んでいます。これらの団体については、住民が具体的な活動への第一歩を踏み出すきっかけづくりとしての役割が期待されます。そのため、住民への積極的な情報発信を行うとともに、自治会や地区コミュニティ、団体間における交流と、社会福祉協議会や市との一層の連携強化が望めます。

市の役割

市は、地域福祉の推進にあたり、市民福祉の向上をめざして、福祉施策を効率的・効果的かつ総合的に推進し、公的な福祉サービスを適切に運営していく責務・役割があります。市の全庁的な体制のもと、横断的な視点で各事業を実施するとともに、社会福祉協議会、地域で福祉活動を行う関係団体等と連携・協力を図りながら、計画を推進していきます。

さらに、市民の地域福祉活動への参画を促すため、参加機会の提供の充実に努めるとともに、各関係機関等とのネットワーク化を図り、総合的な相談支援体制の強化や情報提供の充実に努めます。

市社協の役割

市社会福祉協議会は、地域福祉推進の中核を担う組織として、市と共に、地区社会福祉協議会をはじめ、自治会、地区コミュニティ、民生委員児童委員、ボランティアやNPO、福祉施設等との連携をさらに深め、計画を推進していきます。

また、地域福祉活動を実践するボランティアや地区役員の育成、資質向上を図るとともに、新たな地域福祉活動の担い手をつくるため、講座や事業等を実施します。



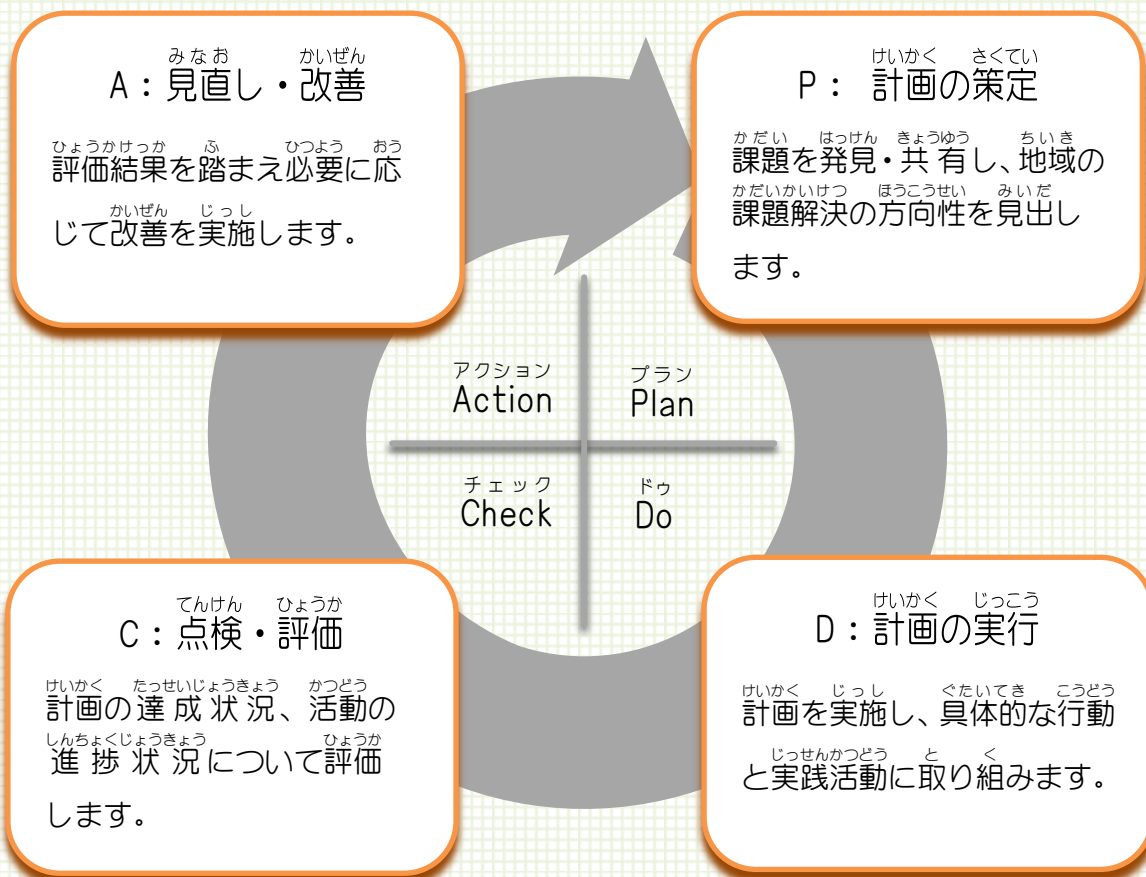
三 計画の進捗管理と評価

本計画の進捗管理及び評価についても、市と社会福祉協議会とが緊密に連携を図りながら、各事業を推進していく必要があります。そこで、市と市社協では、地域住民や地区社会福祉協議会、福祉関係団体、学識経験者等で構成する「地域福祉評価推進会議(仮)」を開催し、毎年取り組み状況の評価、検討を行います。

進捗管理と評価にあたっては、計画(Plan)、実行(Do)、点検(Check)、見直し(Action)というPDCAサイクルを確立し、効果的な事業推進を図ります。



継続的な改善



資 料 編

地区別高齢化率・子どもの割合（平成26年～28年）

地区（字）	平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	人口	世帯数	※1高齢化率	※2子どもの割合	人口	世帯数	※1高齢化率	※2子どもの割合	人口	世帯数	※1高齢化率	※2子どもの割合
撫養町	22,930	10,182	29.1%	16.2%	22,801	10,243	30.1%	16.0%	22,684	10,331	30.7%	15.5%
木津	2,840	1,232	25.6%	16.2%	2,857	1,249	26.5%	16.2%	2,864	1,269	27.3%	15.7%
南浜	2,801	1,364	35.1%	12.3%	2,751	1,355	36.4%	12.5%	2,717	1,356	36.5%	12.0%
斎田	3,197	1,402	28.3%	17.2%	3,227	1,430	28.6%	17.2%	3,244	1,463	28.8%	16.7%
黒崎	3,044	1,312	31.0%	15.4%	3,030	1,323	32.0%	15.2%	3,019	1,330	32.9%	14.5%
大桑島	2,559	1,144	27.0%	16.7%	2,532	1,151	27.9%	16.4%	2,530	1,155	28.2%	16.2%
小桑島	1,966	927	27.4%	16.8%	1,933	914	28.6%	16.1%	1,895	908	29.5%	15.4%
林崎	580	271	37.2%	13.6%	584	276	37.8%	14.7%	578	276	37.7%	15.1%
北浜	1,076	459	28.6%	15.0%	1,052	458	29.9%	14.2%	1,033	465	31.1%	14.0%
弁財天	940	411	31.7%	15.2%	918	403	32.1%	14.4%	920	403	32.6%	14.2%
岡崎	544	239	35.7%	13.2%	544	236	35.5%	14.2%	536	243	37.3%	14.0%
立岩	3,383	1,421	26.0%	19.9%	3,373	1,448	27.5%	19.1%	3,348	1,463	28.6%	18.7%
里浦町	3,743	1,483	32.4%	14.3%	3,665	1,475	33.7%	14.2%	3,579	1,465	34.8%	14.0%
里浦	3,171	1,244	34.0%	14.1%	3,096	1,238	35.4%	13.9%	3,023	1,231	36.4%	13.6%
栗津	572	239	23.6%	15.7%	569	237	24.8%	16.3%	556	234	26.3%	16.0%
鳴門町	6,666	3,092	25.1%	17.7%	6,632	3,106	25.9%	17.4%	6,570	3,076	26.3%	17.3%
土佐泊浦	1,518	735	45.0%	8.0%	1,493	732	46.2%	7.9%	1,422	720	46.8%	7.4%
三ツ石	1,235	587	24.9%	16.5%	1,229	586	26.3%	16.6%	1,220	573	26.7%	17.2%
高島	3,913	1,770	17.4%	21.8%	3,910	1,788	18.0%	21.2%	3,928	1,783	18.8%	20.9%
瀬戸町	4,725	2,183	35.1%	12.1%	4,622	2,154	36.6%	11.9%	4,545	2,160	38.0%	11.4%
明神	2,988	1,298	28.3%	15.4%	2,956	1,290	29.7%	15.0%	2,922	1,303	31.3%	14.5%
堂浦	991	510	43.2%	8.5%	964	497	44.8%	8.4%	936	494	46.4%	7.5%
北泊	493	254	54.2%	3.4%	463	250	56.2%	3.7%	459	251	57.3%	3.9%
小島田	51	25	49.0%	7.8%	49	24	51.0%	8.2%	46	23	50.0%	6.5%
中島田	53	24	45.3%	7.5%	47	23	51.1%	4.3%	45	21	51.1%	4.4%
大島田	63	30	50.8%	3.2%	62	30	54.8%	3.2%	61	31	54.1%	4.9%
室	34	18	44.1%	2.9%	31	17	45.2%	3.2%	29	16	41.4%	0.0%
撫佐	37	16	45.9%	0.0%	36	16	50.0%	0.0%	34	14	52.9%	0.0%
湊谷	15	8	46.7%	6.7%	14	7	42.9%	7.1%	13	7	38.5%	7.7%
大津町	8,161	3,341	29.8%	15.2%	8,120	3,374	31.1%	14.8%	8,048	3,372	32.3%	14.6%
大幸	480	143	29.8%	13.3%	479	148	30.9%	12.9%	464	149	32.5%	11.9%
段関	264	109	35.1%	14.5%	259	111	36.3%	13.5%	257	111	37.0%	13.6%

大代	1,020	412	31.9%	17.1%	1,000	409	34.0%	16.9%	997	412	35.0%	17.2%
備前島	213	74	29.6%	14.6%	202	72	32.7%	12.4%	189	70	33.9%	11.6%
木津野	1,756	754	29.6%	14.5%	1,756	760	30.6%	14.3%	1,727	745	32.2%	13.7%
吉永	1,854	770	24.1%	17.4%	1,901	793	23.7%	17.3%	1,902	789	24.6%	17.7%
矢倉	1,869	864	34.6%	12.8%	1,826	860	37.7%	12.2%	1,811	869	39.1%	11.3%
徳長	585	190	28.0%	16.4%	579	196	28.7%	16.1%	582	201	29.2%	16.0%
長江	120	25	26.7%	15.8%	118	25	28.0%	14.4%	119	26	28.6%	16.0%
北灘町	2,045	900	42.6%	8.4%	2,006	903	44.6%	8.1%	1,942	901	46.0%	7.7%
櫛木	605	244	38.0%	10.7%	596	245	39.9%	11.1%	583	244	40.8%	10.5%
栗田	470	191	40.4%	8.5%	445	190	43.6%	6.1%	433	195	45.7%	6.5%
大浦	156	80	44.2%	9.6%	158	81	45.6%	11.4%	150	75	44.7%	11.3%
宿毛谷	49	27	67.3%	0.0%	48	27	70.8%	0.0%	46	26	76.1%	0.0%
鳥ヶ丸	29	15	51.7%	0.0%	30	17	50.0%	0.0%	30	17	53.3%	0.0%
折野	684	319	44.2%	6.9%	677	319	45.8%	7.2%	653	319	47.2%	6.6%
大須	52	24	61.5%	7.7%	52	24	59.6%	5.8%	47	25	66.0%	2.1%
碁浦	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%
大麻町	12,024	5,142	31.5%	14.3%	11,848	5,123	32.6%	14.3%	11,631	5,087	33.7%	14.0%
姫田	1,030	419	33.1%	14.0%	995	415	34.9%	13.6%	956	406	36.2%	13.6%
大谷	1,660	662	28.7%	16.6%	1,668	668	29.5%	17.1%	1,621	658	30.5%	17.2%
池谷	587	244	32.9%	11.2%	580	246	34.1%	11.4%	579	246	34.9%	11.7%
高畑	191	87	27.2%	12.0%	183	88	27.3%	11.5%	179	88	31.8%	8.4%
松村	294	112	30.3%	12.9%	271	107	32.8%	12.2%	272	106	34.6%	12.9%
牛屋島	348	130	35.1%	12.4%	334	124	36.5%	12.9%	328	123	37.2%	13.1%
東馬詰	414	176	37.9%	10.1%	405	175	38.3%	9.6%	392	177	39.5%	9.4%
中馬詰	87	40	44.8%	6.9%	87	41	46.0%	5.7%	88	40	45.5%	8.0%
西馬詰	91	40	48.4%	7.7%	90	39	48.9%	6.7%	87	38	46.0%	8.0%
市場	998	490	32.3%	9.7%	974	475	33.9%	9.8%	950	467	35.7%	9.5%
萩原	757	321	38.7%	11.8%	755	319	39.2%	11.9%	746	322	40.3%	11.4%
三俣	266	123	30.1%	10.2%	261	123	32.2%	9.6%	258	126	32.9%	8.9%
川崎	312	148	36.9%	8.7%	308	146	37.3%	8.8%	304	148	38.2%	8.2%
津慈	148	63	45.9%	8.8%	142	63	50.0%	7.7%	144	63	51.4%	8.3%
板東	2,561	1,118	31.0%	15.5%	2,561	1,124	32.2%	15.5%	2,539	1,119	33.1%	15.0%
桧	2,280	969	26.3%	18.8%	2,234	970	27.3%	18.6%	2,188	960	27.8%	18.0%
鳴門市全域	60,294	26,323	30.4%	15.1%	59,694	26,378	31.5%	14.9%	58,999	26,392	32.3%	14.6%

※1 高齢化率：65歳以上人口/地区人口

※2 子どもの割合：0歳以上18歳未満人口/地区人口